

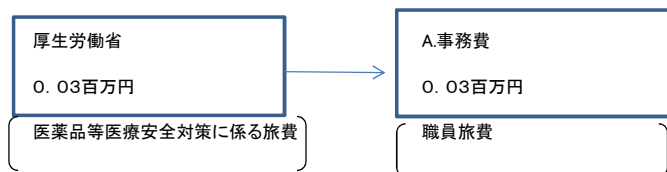
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医薬品等医療安全対策事業			担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	安全対策課		課長 宇津 忍	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-6-2 医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	医療安全推進総合対策(平成14年4月)			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品・医療機器等に起因した事故事例等に関して独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する分析・評価結果や他省庁等からの情報をもとに具体的な改善策を検討し、必要に応じて有識者等の意見を聞いた上で、ガイドラインの策定、製品の基準化、関係団体への要請を行うなどの改善策の具体化を図り、医療安全の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医薬品・医療機器等の名称類似、外観類似、仕様などの「もの」に起因する医療事故やヒヤリ・ハット事例が報告されていることから、これらを幅広く収集・分析することによって「もの」に起因する事例に対して、改善策を検討・実施している。具体的にはフェルセーフ(故障・誤操作時に安全な方に作動)やフールプルーフ(誤操作をしても危険にさらされない)の考えを基に表示やデザインを変更することで、医療事故やヒヤリ・ハット事例の防止に繋がるような製品を医療の場に提供することを目的として、その対策に取り組んでいる。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-
		計	2	2	2	2	2	2
	執行額	3	2	0				
執行率(%)	150%	100%	2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	医療安全情報の報告実績を確認する。	医療安全情報の報告実績	成果実績	数	7	7	7	
			目標値	数	5	5	5	5
			達成度	%	140%	140%	140%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	医薬品・医療機器等対策部会の開催数	活動実績	回	2	2	0		
		当初見込み	回	2	2	1	2	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	X:「医薬品等医療安全対策事業支出額」(千円) /Y:「医療安全情報の報告実績」(件数)		単位当たりコスト	千円	477	286	4	484
			計算式	X/Y	3,336/7	2,002/7	31/7	2,421/5
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	-				
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	1	1					
	医薬品審査等業務庁費	0	0					
	計	2	2					

事業所管部局による点検・改善						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医薬品の安全対策は、国民や社会のニーズを的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医薬品の安全対策は、統一に行うべき事業であることから国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	安全に医薬品を使うことができるよう対策を行うことは、国民にとって優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先を決定する際に価格、業務内容を考慮し最適な業者を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業内容を把握し、コスト削減を前年に引き続きおこなっている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は事業内容を鑑み、真に必要なもののみ支出をしている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	次回の会議開催に向けて調整を行っていた関係で結果的に医薬品・医療機器等対策部会が開催されなかったためであるが、26年度の調整に基づき27年度より年2回の開催をおこなう予定である。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標に見合ったものであり、適切である。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	活動実績は見込みより少なくなった。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は、次回の部会に向けての下準備や方針決めを入念に行い、部会がスムーズに進められるよう打ち合わせや調整を行ったことにより、医薬品・医療機器等対策部会が結果的に開催されなかったため、当初の見込みを下回ってしまった。				
	改善の方向性	平成27年度については、医薬品・医療機器等対策部会は2回を予定している。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、医薬品の名称や外観、仕様等による医療事故、ヒヤリ・ハット事例を防止するための検討に必要な経費であることから、引き続き必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	209	平成23年度	186	平成24年度	155	
平成25年度	181	平成26年度	195			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	医薬品等医療安全対策に係る旅費	0-		-